

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第4回津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会
2. 開催日時	平成24年5月29日(火)14時00分から16時00分まで
3. 開催場所	津市市民活動センター 会議室1 (津市大門7-15 津センターパレス2階)
4. 出席した者の氏名	委員) 木下委員、相沢委員、小椋委員、青木副市長 事務局) スポーツ文化振興部部長 野呂 スポーツ文化振興部次長 新家 スポーツ振興課 課長 川北、主幹 川合 副主幹 谷口、主査 藤川 日建設計) 小谷設計部長
5. 内容	1. 議事 (1) 津市屋内総合スポーツ基本設計について ・第2回検討委員会の内容整理について ・市民シンポジウムでの市民意見の内容整理について ・第3回検討委員会の内容整理について ・進捗状況について(現況説明) ・基本設計概要版について ・委員からの提案事項について 2. その他 ・第3回検討委員会議事録の確認 ・第5回委員会の開催について
6. 公開又は非公開	公開
7. 傍聴者の数	0名
8. 担当	津市スポーツ文化振興部スポーツ振興課企画管理担当 電話番号 059-229-3375 E-mail 229-3373@city.tsu.lg.jp

・ 議事の内容 下記のとおり

<p>事務局（川合）</p>	<p>定刻になりましたので、ただ今より津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会を開催させていただきます。本日は御多忙中、なおかつお足元の悪いにもかかわらず、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>本会議は、津市情報公開条例第 23 条の規定に基づき、公開として、市民一般の方の傍聴席を設けますとともに、会議結果について、住民への説明責任の一層の向上を図る必要がありますことから、会議における発言者の氏名についても、公開することとなりますので、御了承の程よろしく願いいたします。また、議事録については後日津市のホームページで公開をさせていただきます。</p> <p>それでは、委員会の開催におきまして、青木副市長の方からご挨拶申し上げます。</p>
<p>青木委員</p>	<p>皆様、本日もお時間を取っていただきありがとうございます。今日も、だいぶ荒れ模様の天気が続き、雷も鳴ってございましたけれども、この計画だけはずっとやっていきたいと思っておりますので、本日もよろしく願いいたします。</p>
<p>事務局（川合）</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>また本日も、本設計業務の受託者でございます日建設計株式会社名古屋オフィスより担当者の皆様に出席を頂いております。</p> <p>それでは議事に入らせていただきます前に、会議の成立について御確認させていただきます。</p> <p>委員 5 名中、4 名の委員にご出席をいただいております。</p> <p>「津市屋内総合スポーツ施設設計検討委員会設置要綱」第 6 条 2 項の規定に基づき、委員の半数以上の方にご出席いただきましたので、会議が成立いたしましたことをご報告させていただきます。</p> <p>それでは木下委員長、議事の進行につきましてよろしく願いいたします。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>それでは委員の皆さんよろしく願いいたします。</p> <p>では議事の方ですが、事項書に沿って進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>まず 1 つ目「(1) 津市屋内総合スポーツ施設基本設計について」という事で、こちら第 2 回検討委員会の内容整理についてですが、それを、事務局より説明をお願いします。</p>

事務局（川合）	<p>お手元の資料につきましてご説明させていただく所でございますが、まずお手元資料の御確認でございます。</p> <p>A3版でございますが、かなり分厚く閉じてございます。</p> <p>A3版の資料と、さらに事項書の方が付いております。その資料を一まとめと、それから、資料18と致しまして、こちらの方の続きでございますが、現在の委員会の会議資料でございます。そちらの方、資料が2つとなっております、ご確認下さい。</p> <p>それでは、第2回検討委員会の内容整理についてご説明させていただきます。</p> <p>お手元資料1の1をご覧頂きたいと思います。それでは、よろしくお願い致します。</p>
日建設計（小谷）	<p>それでは、私の方から進めさせていただきます。</p> <p>第2回検討委員会の内容整理についてということで、これは前々回に開催されました検討委員会の内容につきまして、前回もご報告を申し上げました。後ほど第3回検討委員会の内容につきましても、ご説明させていただきますが、少し詳細の部分がまだ決定していなかったという曖昧な部分もございましたので、その部分について本日、ご説明をさせて頂きたいと思います。</p> <p>表の右下の部分にそれぞれ簡略化しておりますけれども、水色でマーキングさせて頂いたものが本日の議案という事で、本日詳細を説明させて頂くものでございます。それから赤い部分につきましてはまだ少し検討中の部分、それからグレーの部分については決定事項という仕分けをさせて頂いております。</p> <p>前回についてはお話をさせて頂いておりますので、本日の議案になりますブルーの部分を中心に簡単に説明させていただきます。</p> <p>まず、2番でございます「国際大会の開催を踏まえ、選手目線を考慮しトイレの数を配置して欲しい」という事で、本日トイレの計算資料についてご説明を後程させて頂きたいと思います。</p> <p>3番、「選手と観客の動線が混同しないように」という事で、こちらも動線区分について、後ほどご説明させていただきます。</p> <p>4番、「さまざまな競技者とコミュニケーションがとれたり、子どもも大人も一緒にスポーツをすることで、コミュニケーションが広がる施設としたい」という事で、ソフト面ではさまざまな企画を実現していくという事で、この企画につきましては、今後も引き続き検討中でございます。</p> <p>アスリートモールの作り方、そしてユニバーサルデザインの対応については、本日ご説明をさせて頂きたいと思います。アスリート</p>

	<p>モールの雰囲気については、今日、模型とコンピュータグラフィックスで、空間構成について、後程ご説明致します。</p> <p>5番目、「選手控室にはシャワーを設置して欲しい」という事で、控え室ゾーンの平面計画の見直しをして参りましたので、後程説明をさせていただきます。</p> <p>6番目、「環境負荷を少なくする配慮」という事で、環境負荷配慮手法については、後程ご説明をさせていただきます。</p> <p>7番目、「災害時やイベント時の使い勝手についての配慮」という事で、一つは震災以降よく言われておりますBCP対応についての資料、その後イベント時の対応についてご説明致します。</p> <p>8番目、「周辺環境への配慮をして欲しい」という事で、改めて設計のコンセプトについて、その後、周辺の外構計画についてご説明させていただきます。</p> <p>9番目、「幅広い年代層の利用者を受け入れてくれる施設」という事で、これは、No.4と同じ説明を致します。</p> <p>一つ飛ばしまして、11番目、「アスリートモールの利用方法について」という事で、こちらは後程、模型とCGで使い方と言いますか、空間構成を見ていただければと思います。</p> <p>12番目、「プールについては、直接目線のレベルで中が見えるのは望ましくない」という事で、中が見えないような仕掛けをご提案させていただきますと思います。</p> <p>飛ばしまして、15番目、アスリートの方々のメダルなどをお借りして、展示コーナーの様なスペースを設ける、アスリートモール内に展示コーナーを設ける計画にしております。</p> <p>前々回の内容につきましては、簡単ではございますが、以上となります。</p> <p>はい、ありがとうございました。</p> <p>第2回検討委員会の内容について、詳しくは後程ご説明頂きますが、今の説明について何かご質問等がございましたらお願いしたいと思っております。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、次の市民シンポジウムの意見整理の説明をお願いします。</p> <p>続きまして、資料1の2でございます。市民シンポジウムの意見整理についてです。こちらにつきましても前回の検討委員会で内容についてご説明させて頂いておりますが、その中で6番目、「アスリートモールからメインアリーナ、サブアリーナの出入り口が一箇</p>
木下委員長	
日建設計（小谷）	

	<p>所に集約されていて、大きな大会時の混雑が考えられる」という事と、「2階の観客席へ外から直接アクセス出来る出入り口が欲しい」という事、「選手のアップに使用する事が考えられる為、一般利用のフィットネスを外からも利用できるように」という事で、「アスリートモールのゾーン分けを行って欲しい」という要望があったものに対しまして、本日アスリートモールの使い方、観客導入時の考え方を後程お示しいたしますので、その内容と合わせてご検討頂ければと思います。</p>
木下委員長	<p>ありがとうございます。いかがでしょうか。 続いて、第3回設計検討委員会の内容整理の方もお願い致します。</p>
日建設計（小谷）	<p>資料1の3へ参ります。 こちらは、前回の検討事項でございます。こちらにつきましては、本日は初めてお話し致しますので、全ての項目についてご説明させて頂きます。 1番目、「委員会、スポーツ団体の意見の対応状況を分かるようにして欲しい」という事で、これは今ご説明を申し上げております、前々回の委員会、そしてシンポジウムの意見の対応状況を一覧表にしまして詳細につきましては、後程説明させて頂きたいと思ます。 2番目、「シャトルが見やすい照明計画として欲しい」という事で、アリーナの内部のインテリアに関するご意見を頂きました。こちらについては、もう少し詳細検討の段階で色の決め方等ご相談をさせて頂きたいと思ますので、本日の議題からは省かせて頂きたいと思ます。 「チームの多い競技に対して、シャワー・ロッカー等、WC・控え室は分けて設けて欲しい」という事で、後程、選手控え室ゾーンの平面計画についてご説明させて頂きます。 4番目、「エレベーターに奥まりすぎており、手前に設置したい」という事で、2階との接続を考慮して、アスリートモール中央への配置も検討しましたが、身障者福祉連合会のヒアリング等から、当初のモール奥への配置とさせたいという事で、後程平面でご説明させて頂きます。 「選手ゾーンにも自販機コーナーを設けたい」という事で、前回までは、選手ゾーンの廊下に1箇所設置させて頂くかたちでしたが、本日、平面計画の見直しの中で、元々自販機コーナーとして1箇所に集約して設けていたものを、各施設毎に分散して、もう少し各施</p>

設から使い易い位置に分散して自販機コーナーを設けるプランに変更しております。

6 番目、「食事を提供する場所が欲しい」という事で、大会イベント開催時に屋台を出す等を考えております。こちらは少し運営面の話となりますので、本日の議題からは省かせて頂き、引き続き運営等も含めご検討いただければと思います。

「正面玄関、各施設の出入り口幅について検証して欲しい」という事で、これは、観客の誘導検討および災害時の避難経路等を計算させて頂きました結果を、本日も報告させていただきます。

8 番目、「メッセウイングと新アリーナの接続について、具体的な資料が欲しい」という事で、本日、前に置いてあります模型、それから、コンピュータグラフィックスで具体的に提示させていただきます。

「プールに児童・幼児用の遊具があると良い」という事で、本日も欠席の後藤先生からのご意見を頂きました。

今回計画しておりますプールは健康増進という事を目的としておりますので、少しいアミューズメント的な要素は入ってこないと思いますが、全体の使い方等も含めて、参考にさせていただきます。

「搬入には大型トレーラーを想定しているが、雨天に備えた庇が欲しい」という事で、今現在では、搬入用の 10 t トラックまでを想定しており、庇も設置しております。また、搬入部分の動線計画についても、詳細検討しまして、少し通路幅を広げるなどの変更をしております。

「大会、イベントの利用想定を教えて欲しい」という事で、コンサート等の想定までするという事で、具体的な内容についてはこれから誘致を開始するところですので、内容は未定ですが、建物として、音楽イベントにも対応できるようなハードを設けるとしたら、このようなハードが必要になってくるという事で、本日もご提案させて頂きたいと思います。

12 番、同じく「想定されるイベントに備えた設備を設けておく必要がある」という事で、イベントを想定した設備のご提案を致します。

13 番、概要版という事で、基本設計の概要版を前回ご提案させて頂きましたが、こちらに関しまして、大会、イベント誘致に使用するのであれば、施設をアピールする具体性を加えたほうが良いという事でご意見を頂きましたので、こちらにつきましては、本日も再度、概要版をおつけしておりますが、あくまで一般向け広報を、主目的に建築概要を掲載したものとして作成しております、イベント誘

	<p>致用パンフレットというのは、別途作成するという事で検討しております。</p> <p>アスリートモールの空間イメージを見たいという事ですが、CG・模型でご確認いただけます。</p> <p>アスリートモールの用途をどのように考えるか、こちらは施設の主動線・休憩・ロビーが主用途ですが、イベント時の観客滞留スペースや券売コーナー・事務室・テナントスペース等、企業PRコーナー・展示コーナー・団体情報交換コーナーといったような使い方が含まれております。さらに、大会やイベント時の屋台販売といった事も出来るような使い方を考えておりますが、イベントの性格とその運営と合わせて、今後運営側の検討としてお願いしたいと思っております。</p> <p>アリーナの手すりの使用ですが、これは子どもさんや観客に配慮したものとして、検討結果を本日詳細のご提案をさせていただきます。</p>
木下委員長	<p>ありがとうございました。ただ今の説明に対し、何かご意見ご質問ございましたら、よろしくお願い致します。</p> <p>特になければ、次の議題へ移ります。次の進捗状況についてお願いしたいと思っております。</p>
事務局(川合)	<p>次の進捗状況について現時点での設計概要ということでご説明させていただきます。なお資料2から資料15までございますので、各項目毎に意見していただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。まず資料2をご覧くださいと思います。</p>
日建設計 (小谷)	<p>お手元の資料2は2枚ございます。1階平面図と2階平面図でございます。これで今現在、前回の検討員会以降、平面計画をつめておりまして、プラン変更している内容について、説明をさせていただきます。お手元の資料にも同じものが載っておりますので、小さくて見にくいと思いますが、お手元の資料と比べながら見て頂ければと思っております。</p> <p>1階平面全体の中で、変更した所を枠で囲って文字を書き込んでおります。細かい内容もいろいろございますので、細かい所も含めてご説明したいと思っております。</p> <p>まず、エントランスの入り口部分でございます。入り口部分につきましては、元々段差をつけて一段上げるという計画をしておりまして、このアスリートモールの中間に段差を付けたものが、以前から検討しているプランですが、この段差位置を少し変えまして、こ</p>

のアスリートモールに入る手前の所に段差を付けて上がっていくという話でございます。その時に、横にスロープを設けていたのですが、そのスロープが条例で定められている必要な勾配に基づいたスロープにしておりますが、障がい者団体の方と打合せをさせて頂く中で、スロープは出来るだけゆるくして欲しいという事で、少しゆるめのスロープにしております。この辺りも変更しております。

出入口につきましても、入り口幅を広げて、大きく2つの自動扉で通り抜けられるような大きな扉にしております。

ここで、メッセと新しい体育館を切るという事で、前回ご説明をさせて頂きました。この棟が切れている部分につきまして、この辺りで少し壁を作ってプランの見直しをしております。この辺りの雰囲気は後程、模型とCGでご説明します。

入って頂いて、元々ここにテナントスペースがありましたが、テナントスペースの奥の一角を自販機コーナーとしておりましたが、今回、自販機コーナーをいろいろな所へ分散したことにより、一つにまとめたテナントスペースと考えております。このテナントスペースの考え方については、まだ具体的には決まっておりません。まずはスペース設定をしている状況です。

アスリートモールに入って頂いて、大きく変わっているのは階段です。前回まではこの階段の上がり方は、入ってこちら側から2階へ上がって頂いていましたが、今回はこちら側から入って頂いて、八の字型に上がって頂く階段に変えさせて頂きたいと思っております。これは、全体の避難計画や人の流動計画という、人の動線を考えた結果、この様にしてはどうかというご提案です。その辺りは、後程もう少し詳しくご説明をさせて頂きます。

もう一つ、エレベーターの位置ですが、今はエレベーターを2箇所書いています。前回のプランでは、この位置にエレベーターがありましたが、少し奥まわっていて見にくいのではないかとご指摘を頂き、前回の打合せの中で、この上にブリッジがかかっている所がございますので、この部分にエレベーターを移動してはどうかという事で検討させて頂きましたが、逆に少し前に持ってくる事によってアスリートモールの見通しを阻害する事になるという事と、車椅子で移動をされる障がい者の方に意見を伺うと、出来るだけ中間にこういった物が無い方が、奥まった所にある方が、この辺が使いやすいというご意見もございましたので、再度、元のプランに変更させて頂ければと思っております。こちらは、後程CGで、ここにエレベーターを置いた場合と、奥の場合とを比べて頂ければと思います。

メインアリーナですが、この控室ゾーンについては、後程詳細図でご説明させていただきます。プラン変更を考えております。

それから、このゾーンの一角に自販機置き場を設置したり、少し休憩できるベンチを置くなど、そういった事を追加しております。

さらに、メインアリーナの更衣ゾーンの一角に、障がい者の方でも使える様なシャワーを設ける計画にしました。

細かい話になりますが、フィットネスのスタジオに入っていくゾーンのこの一角にも自販機コーナーを設けたり、プールエリアの更衣室回りに、ハンディキャップのシャワーを設けたり、ハンディキャップのトイレの配置、さらに入入りする所のトイレやシャワーの配置について変更しております。こちらは、後程詳細図を見てご説明させていただきます。

トレーニングルームについては、避難用の出入り口を1つ追加しました。

管理事務所とトレーニングルームの間に、扉を設けました。これは、日常的に施設を運営する上では使わない扉ですが、BCP計画をしていく上で、この管理事務所とトレーニングルーム、それからフィットネススタジオ一体で、災害時の活動拠点として利用するという前提で、行き来が出来るようにしといた方がいいと思い、プラン修正を行っております。

搬入部分についても、床レベルですが、もともと1m上げていたものを50cm上げることにしましたので、搬入レベルも、ほぼトラックと同じレベルで搬入が出来る様にしました。搬入車両も、10tトラックが少し余裕をもって入れるように広くしました。

続いて2階へ参ります。2階につきまして、先ほど申し上げましたこの階段が、両外側へ上がっていく階段になり、こちら側からメインアリーナの観客席へ入っていくという考え方です。元々は、真ん中に人が分散して入っていく計画で、中央部分にメインアリーナの出入り口がございました。中央部分1箇所から2つの階段で下りる、もしくは入ってくる計画でしたが、メインアリーナの両側に入入り口扉を設ける事によって、両側からスムーズに階段に到達するという、2階部分でのスムーズな動線を確保するという考え方もあり、階段の向きを変えさせていただきました。細かい所で、こういった所に自販機置き場をさらに設置しました。

弓道場につきましては、大きくは変わっておりませんが、一部、更衣室の柱の取り付け位置等が変わっております。

一部屋内避難階段を設けたり、元々あった屋内避難階段の幅を少し広げたりと、避難計算に基づいた修正を行っております。

木下委員長	<p>全体の概要の変更は以上でございます。</p> <p>ありがとうございました。プランの前回から変更した所をご説明頂きましたが、何か今のご説明に対して、ご意見・ご質問ございましたらよろしくお願い致します。</p>
事務局（野呂）	<p>エレベーターの位置ですが、内部でも検討させていただきましたが、後でCGを見て頂くとわかりますが、少しアスリートモールの真ん中位に出っ張った様な形になりまして、見通しがちょっと悪くなるという事と、障がい者の方に直接聞いた方がいいかなという事で、職員でも車椅子の者がおりますし、障がい者団体の代表の方にも話を伺ったのですが、障がい者の方が言うには、エレベーターが奥の方にあると言う事を意識しているので、見やすく、奥の突き当たった所にある方が。それほど苦になることはないという事と、上に上がった時にアクセスが良い方がいいという事で考えると、前の案の方が、サブアリーナ・弓道場等へアクセスしやすいのかなという事で、2案ありましたが、出来れば前の案の方が良いかなという思いです。</p>
木下委員長	<p>それに対しましていかがでしょうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>後でCGを見て頂ければ解りやすいです。</p>
木下委員長	<p>私が意見を言わせて頂くと、前回エレベーターについては見させて頂きましたが、CGを見てという話は、恐らくアスリートモール側に出っ張っていますよと、中央部分で出っ張りますからダメですよ、というお話しですよ。でもそれは、出っ張らないようにすれば良い訳ですよ。今は基本設計の段階ですから、実施設計ならそういった事は言われていられませんが、まだ全体のプランニングを見直す機会ではある、だからそういった事を踏まえた上でプランニングしないといけない。だから早めにそういった所を検討して頂きたいという話です。で、周りが固まってそういった事をやり出すと身動きができなくなりますと、いう事を懸念して言わせて頂きました。ですから、出っ張るからダメだと言うのは、はっきり言って理由にはならないという事ですね。</p> <p>それから、奥の方であって、その方が上りやすいというご意見もありますが、これはかなり入り口から奥です。本当にこの距離感が果たして身体障がい者のご意見を頂いた方がそれを理解されてい</p>

<p>事務局（野呂）</p>	<p>るかという事ですよね。一般的にあるのは、そんなに奥にはないはずですね。</p> <p>それと、今、身体障がい者の事を考えていらっしゃいますけれども、エレベーターは必ずしも身体障がい者だけが使う物ではないですね。公園とか屋上の庭園とかテラスとかもありますよね。お子さんをベビーカーに連れて、引いて歩く方もいらっしゃる訳で、そういった時に、一番奥まで行って屋上のテラスに上がろうという時に、かなり不自由ですよね。それに奥にあると管理事務室から最も遠い所にあると目が行き届かない、万が一事故が起きたときとか、そういった時には、早期に気づくことが出来なくなる。だから通常は管理事務室から目が行き届くところで、何かあった時にすぐサポート出来やすい、そういった所に人を置くべきだし、初めてここに訪れた方にとっては、まずエレベーターを探すと思います。そういった時に、エレベーターが奥です。というのを運営面でちゃんと誘導しなくてはいけない。窓口で聞かれると思うので、突き当りのあそこです。と言う誘導をちゃんとしないとけない。そういった運営面でもフォローがしっかり整えば、奥の方でもいいと思いますけれども、サポートなしで、危険性も孕んでいますから、そういった所も考慮して、通常は入り口に近い所に設けるのが一般的な話ですので、ただ、奥でもどうしてもしょうがないというのであれば、運営面でのフォローをしっかりするという前提でやられた方がいいと思いますね。</p> <p>最終的には、どちらかに決めなくていけないですが、ただ、出っ張るからいけないという構造的な問題は後で、今の段階だからそういった事は調整できるはずなんです。むしろ中央の方が良ければそうすべきなんですよ。それが出来ませんと言うのは、もっと後半の詳細の時の話で、ですから早めに全体を煮詰めていかないと、周りを固めるとかなり怖いという事で、前回発言させて頂いたんですけど、どちらにしろ、メリット・デメリットあると思いますので、絶対という話ではないですけど、そういったデメリット面があるという事を踏まえた上で、計画して頂きたいというのが一つかなと思います。</p> <p>私たちの施設でも、エレベーターのある体育館があるんですけど、2階へ一つ上がるだけですので、通常はあまり使われないんですけども、やっぱりそういう場合には使われることになりますので、やっぱり動線はわかり易いのが。</p>
----------------	---

木下委員長	わかり易いのが鉄則で、初めて訪れてもすぐ、人に聞かなくてもすぐ人を誘導できるっていうのが、ユニバーサルデザインの基本です。サインとかそういったものに頼らなくて、建築でその空間として誘導していく、それが基本なので、あちこちサインを見たりとか、人に聞かないといけないというのは、本当は望ましくない。
相沢委員	ついでによろしいでしょうか。エレベーターの入り口はメインアリーナ側で、出口はサブアリーナ側ですか。
日建設計（小谷）	そうですね。
青木委員	出口は、その反対側なんですか。
日建設計（小谷）	そうですね。はい。通り抜け型にしています。
青木委員	出た所の横は、吹き抜けの絵が描いてあるんですけど。
日建設計（小谷）	はい。
青木委員	出てメインアリーナ側の方へ行くと、サブアリーナの側を回ってからぐるっと回っていかないと行けないんですか。
日建設計（小谷）	そうですね。
青木委員	これは何ですか。
日建設計（小谷）	ここから出て、この廊下を回ってメインアリーナ方向へ、サブアリーナはここから入って頂いて、弓道所はここから入ります。エレベーターを降りて頂いてから一番近い動線で3つの施設には同時に行ける。
青木委員	反対側には何かできない理由があるの。
日建設計（小谷）	いや、別に反対側に出来ないわけではないです。
青木委員	反対側になると、今度は弓道場の方へ行けないとか。

日建設計（小谷）	<p>ちょっと位置を寄せてあげれば、こちら側から。</p> <p>車椅子利用の事を考えると、通り抜け型が一番使いやすいものですから、そういう意味で、この形にしました。その辺はもちろん調整はできます。</p>
青木委員	<p>エレベーターはガラスとかそういう物ですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>シャフトといいますエレベーターの籠の外にあります壁はガラスにして、籠そのものは普通の鉄の籠です。エレベーターが上下しているのが見えるという事が、先ほど先生がおっしゃった様に、一番視認性が高い、エレベーターがわかり易い形になるかなと思います。</p>
木下委員長	<p>2階に上がると、逆に何処に出たのかっていう、全く見たこのない世界へ出るわけですけど、その辺は大丈夫ですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。この辺りは、正直悩んでいる所では。</p>
木下委員長	<p>ちょっと、一瞬、不安になりそうな気がしますけど。</p>
青木委員	<p>車椅子を使うと、ガラスが当然、正面にありますよね。通常は。</p>
日建設計（小谷）	<p>そういう時は、上の方にバックミラーみたいな物を付けまして、後ろの様子が解るようにします。</p>
事務局（野呂）	<p>これを裏にされたのは、エレベーターがスケルトンで、景色を見ながら上がって行くイメージですよ。アスリートモールの上を。</p>
日建設計（小谷）	<p>いや。景色は見えないです。</p>
事務局（野呂）	<p>見えないですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>籠そのものは見えないです。</p>
青木委員	<p>よくデパートなんかにある、スケルトンのやつではないですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>エレベーターって、こういう風になっていまして。</p> <p>普通、エレベーターは、外周を囲っている壁があって、外にこう</p>

	<p>扉が付いているんですね。これがこう引き戸で、横に引かれるんですけど、内側にもう一つ、こう籠が入ってまして、ここにも扉が2つあって、この2枚の扉が同時に開扉して入っていきます。この外側も通常は壁なんですけども、今回はこれをガラスにします。ただこの中の箱はただの箱です。</p>
青木委員	<p>上半分をガラスにするとかしないのですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>今は全部箱です。 ですから、この中にいると外は見えないんですけど、外から見た時に、この籠がこう縦にあって、こう箱が上がったり下がったりしているのが見えるという構造です。</p>
相沢委員	<p>だから、スケルトンの箱には出来ないんですか。という事じゃないんですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>これですか。</p>
相沢委員	<p>高くなっちゃうんですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうです。</p>
相沢委員	<p>全然高いんですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>倍以上になります。</p>
相沢委員	<p>それを言えばいいんじゃないんですか。 だからスケルトンじゃないって。どう考えてもスケルトンの方がいいですよ。</p>
日建設計（小谷）	<p>倍以上の見積もりになるので、ご検討させて頂いて、ご提案して、籠は箱でいいんじゃないかという事になりました。</p>
事務局（野呂）	<p>それと、エレベーターと弓道場の入り口の間が狭くなりますよね。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。柱が当たっているのです。それでも1,800くらいはあるかなと思います。</p>

青木委員	両側に開閉のドアが付くものと、1 個だけのものと、だいぶ値段は違うんですか。
日建設計（小谷）	エレベーターのですね。
青木委員	ええ。
日建設計（小谷）	両側というと、こっちも出れるし、こっちも出られる。
青木委員	そうです。今提案して頂いているのです。
日建設計（小谷）	いや。こちらは、特にそんなに変わらないです。
青木委員	そうなんですか。
日建設計（小谷）	はい。 どちらか片方であれば、そんなに変わらないです。
木下委員長	アスリートモールに出るというのは無いですか。
日建設計（小谷）	無くはないと思っているんですけど。
木下委員長	その方が自然と言えば自然ですね。
日建設計（小谷）	こっちへ出て、こう行くのと、こう行くのとでちょっと。
木下委員長	でも、サブの方へは、行きづらいですけども、という事ですね。でも、メインの方へは行きやすいですね。いちいちサブを通らなくてもいいですから。車椅子が一方通行がいいかどうかということもありますが。
日建設計（小谷）	人数の事を考えるとメインの方が多いので、こっちに出て頂いて、通常は行って戻るエレベーターですから。必ずしも通り抜けでなければいけないという訳ではありません。
木下委員長	エレベーターに関しては、その辺も踏まえてご検討頂ければと思います。

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>はい。わかりました。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>ほかに何か、お気づきの点とかございましたら教えて頂きたいと思ひます。</p> <p>よろしいですか。まだたくさん議題がございますので、次の議題へ移らせて頂きます。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>次の議題へ行く前に、少しCGを見て頂きたいと思ひます。</p> <p>こちらの画面、これが現在立っているのが、ここが玄関の入り口でして、こっちに行くとアリーナ、こっちに行くとメッセ。丁度ここがメッセの丸い所になります。その入って行く所から始めさせて頂きたいと思ひます。</p> <p>ここからはずっと体育館にアプローチしているという事です。ずっと近づいていく、先ほどのスロープを上がって一段上がった所。ここで、ここに線が入っていますが、この部分でメッセ側と体育館側が切れているというかたちになります。屋根がかかっています、正面にも壁が立っているんですが、少し屋根と壁の間の隙間を分けて、完全に建物の構造としては分離されているというかたちをとる事によって、メッセ側に既存遡及をかけない様な計画で立てました。雰囲気的には、ちょっと今ここ壁になっていますが、メッセ側も開口があつて、ずっと抜けて見えるような計画で考えています。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>入って行って、向こうを見返すと、こういう風になります。</p> <p>ずっと入って風除室を出て、アスリートモールを見通すとこんな感じですよ。入ってすぐ、こちら側に管理事務所があります。その横、ここがフィットネススタジオ的なものですね。入って反対側をずっと入って行って、このカウンター、これが、こっち側から入って行くと、スタジオそれからフィットネスジムに行く所、カウンターの向こう側へ行くと、プールへ入って行く入り口の受付になります。その奥へ行くと、スタジオへ入って行く所の更衣室の入り口になります。こちらはプールへ入って行く所の更衣室の入り口。ここがキッズルームになっていまして、先ほどのエレベーターを手前に持ってきたら、丁度この部分に透明なガラスの物を作っていますが、これがエレベーターです。手前側にあるのがエレベーターです。メインアリーナの正面まで来ました。ここは今、扉が開いていませんが、これだけの間口の扉があつて、メインアリーナがここから覗けると</p>

	<p>いう事です。階段がこう両側から、見返すところら側にプールが見えるという感じです。振り返るとこういうイメージで、上にブリッジがかかっています。正面側はこの奥にサブアリーナの入り口があって、こちら側に弓道場の入り口があって、この部分に光が入って来る感じです。階段を上がって行った所のここが2階の客席の入り口、それからここを渡って行って、弓道場に行きます。そしてこの奥に、メイン・サブアリーナの2階席に入る道があります。</p> <p>このメインアリーナの反対側が、屋上庭園になっています。このブリッジを渡って行って屋上庭園へ行くことになっています。プールの2階部分、この部分が2階からプールを見下ろせる観覧スペースとなっています。こちら側からも、2階席への出入り口があります。この一角がテナントスペースですね。大体こういった感じです。</p> <p>エレベーターの位置をちょっと。</p> <p>丁度、この部分ですね。エレベーターが、この位置に持っていくと見える、という検討をして、奥でも見える事が出来るのではないのでしょうか。今日はこういう形にさせて頂いております。</p> <p>同じく、アスリートモールの模型を持ってまいりましたので前でご覧いただけますか。</p> <p>(模型を見物中)</p> <p>では、引き続き資料を進めていきます。</p> <p>お願いします。</p> <p>時間も進んできてますので、お願いします。</p> <p>次、資料3になります。イベントの時に、どのように人を入れていくのかという事ですが、メインアリーナを使ったイベント想定して書いていますが、入り口のエントランスプラザという、ひさしのかかった雨に濡れないスペースが入り口前にあって、そこでも観客の方に待機して頂けます。それから、風除室を入ったベージュ色で色を付けている所が、入り待ちの行列のゾーンになっています。先ほども言いましたように、柱のある階段の手前の所、ここでもぎりを設定して、ここでもぎった後、観客の方は2階へ上がって頂く、基本的には2階が全部観客席。観客の方は1階、2階へ上がるという想定で考えていますので、ここで客待ちという考えです。</p> <p>今、もぎりブースを6ブースくらい作れるかなと考える時に、入り口の時に6ブースを通過する時間を考えると、25分くらいで捌け</p>
日建設計（小谷）	
木下委員長	
日建設計（小谷）	

るので、ここで多い時には捌くという風に思っています。ただ、固定的には、ここに何かを作る訳ではないので、イベントの性格によっては、2階へ階段を上がって行った所でもぎりをするというような使い方も可能かと思えますので、その辺りはイベントの性格・運営される側の方と相談しながら使い方を判断して頂ければと思います。基本的にはこういった形で、いずれにしろ、入場の時に何箇所か分散してもぎりを付けるという施設も、もっと大きくなれば有りますが、この3,000人規模の施設でしたら、1箇所に集約で対応可能じゃないかと思えます。そうすると、並ぶ部分も1箇所に集約して、アスリートモールとエントランスプラザを使えば対応できるかと思っています。このようなイベント時の検討をさせて頂きました。

引き続き、資料3の2枚目でございます。

これは避難計画と申しまして、火災が発生した時に、観客の方をどのように避難させるのかという計画です。実はまだ、避難計画の計算の中途段階ではありますが、今検討しているのは、このメインアリーナ、一番この建物の中で人が集まって、火災時に避難の事をよく考えておかなくてならない施設、それがメインアリーナになります。メインアリーナの観客の方は、基本的に全部2階にいるという事で、2階から、このブルーのゾーン、これが今のランニングコースでもありますが、ここを通過して正面側アスリートモール側の階段に避難してくる動線。それから、サイドに直接外部へ出ていく階段が、1箇所ずつ、合計2箇所あります。それから、サブアリーナ側に避難する出口。こういった出入り口を設ける事によって、メインアリーナの観客の避難を行います。これは扉幅であるとか、通路幅であるとかを計算して求めておまして、考え方としましては、メインアリーナは天井の高い空間ですので、火災が発生した時に一番危険なのは、煙に巻き込まれるという状態が危険なんですね。天井の高い所だと、上まで煙が上がれば、低い所を歩いている分には、煙が上がっていても避難できるという考え方で、この横にグラフがありますが、メインアリーナの天井部分に煙が上がって行って、下がって行って、人が歩いている所くらいまで煙が下がってくるのに、約9分11秒、約10分かかります。それに対して、3,000人の観客を、避難階段から避難するのに約7.25分で避難できるという計算をして、扉幅や通路幅を決めています。こういった計算をして、安全に避難できるような施設計画に反映していきたい。これが今、メインアリーナだけ検討していますが、今後はそれぞれの施設に人を当てはめて行って、全体の階段幅や扉幅の調整をしていきたい、

	<p>通路幅も含めて調整していきたいと考えています。1階につきましては、観客ではなく、基本的には大会の関係者になりますが、人口密度から、だいたい750人くらいの方が避難できるという計算をしていますので、それぞれ、1階から直接、扉を出て外部へ避難していくという事で、アスリートモールを通じて避難する所もちろんありますが、避難計画を考えています。全体の通路幅、扉幅の検討については以上でございます。</p>
木下委員長	<p>ありがとうございます。イベントの時の対応の仕方、避難時の対応の仕方について計算して頂いたという事ですが、何かご質問がありましたら、お願いしたいと思います。</p>
青木委員	<p>鍵は何箇所開ける必要があるんですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>避難時ですか。</p>
青木委員	<p>避難時です。</p>
日建設計（小谷）	<p>避難時は基本的には鍵はかかっていない想定ですね。</p>
青木委員	<p>外側へ出るのもですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>いえ。直接外へ出るのは、鍵を開けなければなりません。ここと、ここはそうですね。</p>
青木委員	<p>2箇所だけでいいんですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>はい。内側からは簡単に開く鍵になっていますから。</p>
青木委員	<p>内側からは開く鍵ですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>内側からは手で簡単に開けられる鍵です。</p>
日建設計（岡田）	<p>サムターンって言うんですけど、回転させて開閉させるだけなんですけど。</p>
事務局（野呂）	<p>外からは勝手に入られたら困るけど、中からはすぐ出られる鍵に。</p>

青木委員	そういう鍵にしてあるの。仕様で。
日建設計（小谷）	そういう仕様にします。
青木委員	誰か出て行ったら、後閉められないですね。
日建設計（小谷）	完全に、避難に限定で、施設管理で使わない場合は、その鍵にもう1つプラスチックのカバーを付けたりして、そのカバーを壊して開けるとい鍵にするケースもあります。
青木委員	ケースというと、今は考えてもっていないんですか。
日建設計（小谷）	今の所は、普通の鍵で。その辺の所は使い方でご相談させて頂いて、鍵については、詳細検討させていただきます。
青木委員	避難計画を立てると、そういった細かい所でいろいろな問題が出てくるので。
日建設計（小谷）	どうしても運用面とバッティングする所が出てくるんですね。
青木委員	後、施設にいる人の数と、避難口を開けて回らなければならない数と必要な時間を考える必要があります。そして、パニックになった時に、綺麗に3箇所、4箇所に分散しないは思うんですよね。最悪の場合は1箇所、2箇所に集まるって事も考えて。
日建設計（小谷）	今、実はそれぞれ、扉の位置でここから避難って作っていますが、実際に火災の検討上は、この近くでもし火事があったら、ここから避難は出来ませんから。1つ、どこかを潰しても、ほかの3箇所で避難が出来るという計算で考えています。
青木委員	人間の割合はどういう割合で計算しているのですか。
日建設計（小谷）	一番近い所、この一角はここからここまで。この一角はここからここまで。
青木委員	大体、何人ぐらいそこへ集まるのですか。

日建設計（小谷）	全体で3,000人ですが、こちら側で1,000強ですか。基本的には、消防のこういう緑色の人が逃げている誘導灯という物を付けますね。それで、それぞれの場所、どっちに逃げて下さいっていう誘導をまずします。
青木委員	その時に開いていないとダメですよ。
日建設計（小谷）	はい。
青木委員	で、閉まっているのは。
日建設計（小谷）	これと、これです。 ただ、これも避難する人がその場で、こう開けて逃げられますから。ここでだいたい1,050人くらいの計算ですね、これが200人くらい、こっち側で950人くらい、ここで450人というような、一応人数割り振りを前提にして計算をしています。
木下委員長	2階の、アスリートモールに面した側の、大階段の所からそれぞれ降りてきて、その先は1箇所の玄関に出ないといけないですよ。
日建設計（小谷）	ここを降りてきて、ここと、ここと、それからここも一応避難できるんです。
木下委員長	そちらは、履き替えをするというような。
日建設計（小谷）	履き替えはしないですよ。避難の時は、あんまり靴を履いている時間はないかもわかりませんが。
木下委員長	ただ、やっぱり、そちらには多分流れないと思いますけど。
日建設計（小谷）	ほとんど、やっぱり入って、入ってきた所から出ていく傾向にありますか、ほとんど、こっちと、こっちだと思います。
木下委員長	で、この出入り口の幅でクリアできると。
日建設計（小谷）	はい。クリアできます。 今後、イベント対応のお話があって、今はあくまでスポーツイベントで、観客が2階だけにいるという想定ですね。可動席が作って

	<p>ありますが、この人達も2階へ上がってきて避難するという計算をしていますが、今後、平場の所に、もっとたくさん人を入れた、もっと違うイベントをするという場合は、もう少し1階に避難経路というのを、実はそれを前提にもっと検討する必要があるって、今、そこまでは出来ていない部分があります。まずは、スポーツイベントを前提に検討しています。</p>
木下委員長	<p>いかがでしょうか。</p>
相沢委員	<p>ボイラー室はどのあたりですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>この部分に機械があるのと、それからここに大きな機械室があります。</p>
相沢委員	<p>火災が起こるとしたらこの辺くらいしか、起こりようがないでしょ。</p>
日建設計（小谷）	<p>最近のボイラーはそんなに火災が起こることは無いので、大丈夫です。だから、体育館の中で火災が起こるというケースはあんまり無いんですが、とはいえ、やっぱり、その他イベントにも使うと考えていくと、想定はしておかなければならない。消防法的には、体育館と一般的なイベントをする場合は、そういった避難の計算とか、適応する法律が違うんですが、今回は体育館ではなくて、イベントで対応すると。</p>
木下委員長	<p>イベントの観客の入場の話なんですが、並んでいる時に一般利用者が出入り可能かどうか。</p>
日建設計（小谷）	<p>実際は8m幅ありますから、1人当たり1mでロープガードなどで作っても、5列作ってもまだ残り3mありますから、十分この横は通り抜けて入って行けるスペースはあると思います。</p>
木下委員長	<p>イベントを想定して、メインとサブが同時に別々のイベントをするとか、そういった事は想定しますか。</p>
日建設計（小谷）	<p>やっぱり、想定する必要はあると思います。</p>
木下委員長	<p>そういった時でも、対応は可能ですか。</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>そうですね。その時には、先ほど言いました様に、ここで全部もぎりにするのではなくて、2階へ上がった所でそれぞれ、メイン側とサブ側で分けるという使い方が出来ると思います。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>他にいかがでしょうか。よろしければ、次の議題へ移りたいと思います。</p> <p>では、続いてお願いします。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>続きまして、資料4、BCP対応という事で、震災以降注目されていますけれども、今回の施設のBCP対応について整理しました。</p> <p>今回、BCP対応の考え方として、この施設をどういう施設として使うかという事です。災害対策を行う、行わないで、それぞれ施設計画は違いますが、今回は行うという事で、その中で、防災拠点と書いています。要するに、ここを災害時に発生した時の災害活動の中核指示・コントロールの場所として使うという前提にはなっていません。むしろ、この場所は災害活動拠点としての機能です。ここに資材を集約して、ここから分散して配置していくとか、そういった物流拠点的な使い方ですね。それが、災害活動拠点としての機能を確保するという事です。その方針としては、インフラ、電気・ガス・水、そういう物が途絶えても、3日間は自立する機能を確保したいという事で考えています。対策の所に具体策を書いています。非常用発電機を設けるという事と、太陽光発電によって対応するという事。照明負荷が20%程度、コンセント20%程度で、これで3日間ぐらいの対応ができるという事。通信設備につきましては、災害時に無線電話を契約して頂いて対応するという事。あとは携帯と無線通信になります。</p> <p>給水につきましては、飲用については、入水タンクを少し大きめにして、入水タンクに備蓄する。それからポータブル造水装置という、簡単なワゴンで運べるようなもので、今回、雑用水として、トイレの水を流したりするのは井戸水を使おうとしています。井戸水なども、ポータブル造水装置を通せば、飲用に使えるという事で、そういった装置を備えておくという事です。それから給水ポンプは非常用発電で電源を供給する事によって供給することが出来る。先ほど申しましたトイレを流すような水は、井戸水で対応できるようにしています。排水ですが、トイレを流せる、水が流せるといっても、流す先が止まっていると困りますので、この時は、災害時汚水</p>

	<p>貯留槽という事で、地下のピットの部分に、汚水を溜めておく水槽を設けます。それと、空調設備ですが、災害時、空調設備は最低限の物になりますが、電気式の空冷パッケージで、発電機から一部、災害活動の部屋へ供給します。</p> <p>もう1つのこの施設の使い方として、地域の一時避難所としての機能を確保する。例えば、洪水が起きた時に一晩だけ避難するというような施設ですね。3日間ほど、ずっとここに居たり、家が潰れてしまって、1か月とか居るといような施設ではなくて、一晩くらい滞留する施設です。上記の災害拠点と同じような機能を持っていれば、それぞれ、メインアリーナ・サブアリーナ・武道場合わせてトータルで1,000人くらい、希望の人は一時避難場所として使えるだろうという事で、想定した計画をしています。</p> <p>その次の所に図を描いてありますが、今申し上げましたピンク色で塗っている部分、これが一時避難場所として使える部分です。</p> <p>先ほど少し申しましたが、このメインの管理事務所とフィットネススタジオ・マシジムの、このブルーと紫色になっているこの部分。この部分を災害活動の拠点施設という事で、非常用発電機の電源を集中してこちらで使えるようにするという事で、この辺一角を全て一部屋として使えるように考えています。それからメインアリーナの脇にあるトイレ、ハンディキャップも含めてですけど、こういう物については、災害時でも使えるという事です。全てのトイレが災害時でも使えるというものではなくて、エリアを限定して災害時でも使えるトイレを作ります。あと、救護室なども100%電源を確保して救護できるような体制をとるとい考えです。ここに点線で書きましたが、先ほど申し上げました汚水の貯留槽を地下に設けて、ここに汚水を溜めて、汚水の処理が出来るような施設もやりたいと思っています。今の所、BCPの検討については以上です。</p> <p>ありがとうございます。災害時の対応についてご説明がありましたが、ご質問がありましたらお願いします。</p> <p>もう1つ検討しているのが、津波の高さが見直されて、前が3.何mかで、現在がマグニチュード9の時の津波の高さが4.8mというのが予測されています。その時、かなりの避難する人が出て来るので、津波の一時避難場所という事で、数千人くらいはいけるのではないかなという検討は防災の方とやっています。</p> <p>その際の備蓄倉庫とか、そういうものは。</p>
木下委員長	
事務局（野呂）	
木下委員長	

事務局（野呂）	津波避難であれば、特には。ただ逃げ込むだけです。
木下委員長	ほかに何かご質問ありましたら、よろしくお願いします。
青木委員	汚水貯留槽は通常時は何ですか。
日建設計（小谷）	通常時は空のピットですね。建物の基礎の部分を溜められるようにしています。
青木委員	地下ですか。
日建設計（小谷）	地下です。床下です。
青木委員	コンクリート製ですか。
日建設計（小谷）	はい。
青木委員	ヒビが入っていると、地下水が入ってきませんか。
日建設計（小谷）	それは、一応、簡単な防水はします。
青木委員	よく、水が溜まってボウフラが湧いて、蚊の発生源になる事がありますが、それが地下でそれも屋内ですと、その心配はないですか。
日建設計（小谷）	汚水貯留槽に使わない所のピットは、全部ポンプアップして吸い上げる事が出来るように、ずっと排水をつなげていって流すことが出来るようにします。汚水貯留槽は簡単な防水にして、地下水が入ってこないようにします。
日建設計（岡田）	ピット専用の防水があります。
青木委員	建物中に、汚水を溜めるといのは、臭いが外に出てしまうのでは。
日建設計（小谷）	使用は非常時、災害時だけです。
青木委員	当然、清掃用のマンホールも、室内に出来ますよね。

日建設計（小谷）	はい。
青木委員	そこから臭いが上がって来るんですけどね。
日建設計（小谷）	こう、ボルトで締めこむようなパッキンの付いた密閉型のものを使います。
青木委員	何㎡くらいありますか
日建設計（小谷）	120㎡くらいです。
青木委員	大きいですね。屋外へ出すという発想はないですか。
日建設計（小谷）	屋外へ出す為には、またそれ用の構造物を作らないといけないので、今は基礎の所を利用しているので、それ用の構造物を作らないでと、考えています。
木下委員長	他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。 では、また次の議題へ入りたいと思います。
日建設計（小谷）	今度は、先ほどご説明した平面計画の詳細の話で前回の委員会でも小椋委員からご意見を頂きました、控室ゾーンの計画です。見直しをかけてまいりまして、先週、控室のゾーンはこういった形で作りまして。構成としましては、中央に大きな控室、これが2部屋。この中央の大きな控え室は、半分に割る、もしくは3分割して使うという風にして使える形にしています。それから、その両サイドに、トイレとシャワールーム、これは独立して設けて、それぞれ廊下から直接入って使える形にしています。あと、その隣にロッカールームと、ロッカールームに付属する形でミーティングルームです。これは今、ロッカールームとミーティングルームが一体となった部屋になっています。ですから、トイレ・シャワールームはいろんな選手・チームの方がそれぞれ使えます。ロッカールームだけは、このミーティングルームと一体で使う。最大このロッカールームの付属したミーティングルームと中央の大きな控室を、それぞれ3分割していくと、サイドの物を含めて、トータル8つの控室が作れます。もう少し人数の多いチームになってくると、3分割を2分割にして、6つにするとか、少しフレキシビリティのある控室構成を考えてい

	<p>ます。これについてご意見を頂ければと思います。</p> <p>もう1点、次の資料の方ですが、フィットネスゾーンの特にプール側とフィットネスエリアの更衣室のプランです。こちらの上がアスリートモールで、受付と書いてある所でそれぞれ、プールとスタジオ側の出入り管理をして、ここでサイドに分かれます。図面でいうと左側がスタジオ・フィットネスゾーンの入り口に、右側がプールの入り口です。プールの入り口は、入って行って、それぞれ更衣室が男女分かれまして、一番プールに出入りする所でシャワーがあるという形です。それぞれプールの更衣室にもハンディキャップのトイレとハンディキャップのシャワーを設ける。このハンディキャップのシャワールームを少し広めにして、ハンディキャップの方の更衣は、このシャワールームの中で出来る様にするという事にすれば。またハンディキャップのシャワーを更衣室の出入り口の一番近い所に設ける事によって、仮に介添えの方が異性の場合、使われる方が男性で介添えが女性という異性の場合でも、入り口だけです。奥まで入らなくても、使えるようになるという形でプランニングを考えています。反対側については、フィットネス側ですので、更衣室とシャワー、簡単なトイレだけを設けています。</p> <p>という事で、詳細を提示しました。</p>
木下委員長	<p>選手控室と更衣室のプランの変更についてご説明がありましたが、何かご意見があればよろしくお願ひします。</p> <p>小椋委員いかがでしょうか。</p>
小椋委員	<p>いいと思います。</p>
事務局（野呂）	<p>Vリーグとか、プロの試合は2チームですよ。</p>
小椋委員	<p>バトミントンですと、男女合わせて8チームなのでちょうどです。</p>
事務局（野呂）	<p>そうすると、全部使ったら8チームいけると。</p>
小椋委員	<p>はい。ちょうど、分けられます。</p>
事務局（野呂）	<p>2チームであれば、両サイドの施設を1回利用すれば、シャワーもロッカーも使えるという事ですね。</p>
木下委員長	<p>更衣室はいかがですか。</p>

小椋委員	プールのトイレは、更衣室の中にしかないんですよね。
日建設計（小谷）	はい。ここですね。
小椋委員	という事は、プールに入っていて、トイレに行きたくなったら、濡れたまま、そのトイレに行くんですか。
日建設計（小谷）	そうですね。
小椋委員	どうなんですかね。
日建設計（小谷）	ちょっと、使い勝手が悪いという感じがあると思いますけども、保健所の指導で、トイレへ行ったらもう一度、必ずシャワーを浴びてプールへ帰ってこなくてはいけないという事があります。そうになると、シャワーを浴びた先にトイレがないといけないという事になるので、どうしても衛生上はそうならざるを得ないです。
小椋委員	<p>私がよく行くプールは、ほとんどトイレが外というか、更衣室に戻ってトイレに行くのではなく、トイレがあって近くにシャワーがあるという感じです。</p> <p>それはそれで、濡れたまま更衣室に入るじゃないですか。それが拭かれていなくて衛生上悪いと捉えられるという感じはしますけどね。</p>
日建設計（小谷）	そうですね。ここは、こういう位置関係だったら割と上手いですよね。
小椋委員	まだいいですよ。
日建設計（小谷）	<p>ちょっと、ここが奥まりすぎている感じですよ。</p> <p>これが、この辺にあれば、いいのかな。</p>
小椋委員	それが、また子どもとかだったら、すごい使い勝手が悪い気がするんですよ。奥だと。
日建設計（小谷）	この控室を少し動かして、これをもうちょっとこの辺りに持ってきて、ここから、こうすつと入って、シャワーを浴びて、また戻っ

<p>木下委員長</p>	<p>ていく形にする方がいいと思うので、これはプランを調整します。</p> <p>他、よろしいでしょうか。では、また続きをお願いします。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>資料の6番です。今回バリアフリー、ユニバーサルデザインの街づくり条例に適合した計画で考えていますが、その中でも、バリアフリー新法という法律、それから三重県のユニバーサルデザインの街づくり推進条例という条例、この2つ適合する形で、今回、計画しています。さらに、バリアフリー新法という法律の中で、基準が大きく2段階に分かれておりまして、一般的な基準が、3つ表があるうちの一番左の部分ですね。バリアフリー新法建築物移動円滑化基準省令という、これが一般的な建物で、それに対して真ん中が、建築物移動円滑化誘導基準で、真ん中の方がより、障がい者の方であったりお年寄りだったり、そういった方により優しい誘導的基準、こちらの方が、より優れている基準という事で、2段階に分かれた法律になっていまして、今回は、誘導基準の方の適合で施設計画を考えたいと思っています。そうする事によって、バリアフリー認定という認定を頂けるという事になりますが、あくまでも、一般市民の方が主体的に使われるという事で、よりバリアフリー化と言いますか、いろいろな方が使いやすい施設づくりと考えています。それぞれ、出入口や廊下・階段・エレベーターの扉幅や通路幅、階段も段差を少し緩やかにしようとか、スロープを緩やかにしようとか、そういった基準が決まっています。</p> <p>それから、資料6の2枚目には、お手洗いや駐車場、更衣室の考え方についても、細かい寸法が決められているので、最低限これをクリアする計画で検討を進めたいと思っています。出来るだけ、余裕の持てる所は余裕を持たせながら計画を進めるという考えです。少し細かい所は省略させていただきますが、大まかな考え方としてそういう考え方です。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。ただ今の説明について何かご意見がありましたら、よろしくをお願いします。</p> <p>義務よりも、一段厳しい対応をしますという事ですよね。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>はい。誘導的基準の方で対応という事です。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>はい。よろしいですか。それでは、次の議題へ移らせて頂きます。</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>資料7です。前回の委員会の中で、プールの中、先程もアスリートモールのここからプールが見える訳ですが、アスリートモールのすぐ、こういった所からプールが見えるのは、あまり良くないのではないかという事で、1つの案としては、こういう形で、ちょうど目線の所に半透明のフィルムを貼って、中が見えないようにする。横に事例写真が出ていますが、石川総合スポーツセンターですね。このガラスの窓の所に半透明のフィルム、こんな感じですね。先ほどの階段の手すりの所も、こんな感じにフィルムを貼ったりすると、向こうが透けなくて見えない感じかなと思います。これはあくまでも、目線の所に半透明のフィルムを貼っているだけですが、やり方については、今後デザインを考えさせていただいて、単純に目線の所だけ貼るのか、もう少しいろいろなパターンを付けて貼るのかという事については、デザインを今後検討したいと思っています。基本的には、目線の所から直接中が見えないような形をとりたいと思っています。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>ありがとうございました。ただ今の議題で何かご意見があればお願いします。</p> <p>半透明のシールを貼るという事ですが、デザイン検討はして頂けるという事ですが、出来れば、後で貼りましたというような風にならない様にはやって頂きたいですね。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>石川のものは、たぶん後でやったやつですね。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>明らかに後ですよ。クレームが出来て貼りましたという対応の仕方だと思いますので。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>そうではなくて、最初から考えていこうと考えています。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>意図的にデザインを考えて頂いて。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>これ、下の所って、屈まなければ見えないって感じになりますが、ここから離れると視線が合いますよね。泳いでいると。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>こういう角度ではそうですよね。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>いや。もうちょっと離れて。</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>だから、要はこっちの人と合いませんか。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>この辺りの人ですね。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>そうそう。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>それはそうですね。すぐ近くで見られるのが嫌だからという感じで、これはやられていると思いますけど、その辺の造りは、もう少し全体にグラデーションをかけるとか、何か考えたいと思います。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>取って付けたて訳じゃなくてという事ですね。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>はい。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>他、いかがでしょうか。よろしいですか。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>はい。では次の議題へ移らせて頂きます。アリーナ・観客席の手すりですね。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>観客席の手すりについても、前回少し話題になりましたので、詳細は今、検討中ではありますが一部資料をつけております。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>これが、2階席からずっと降りてきて、一番最前列の手すりです。この腰の部分がガラスになっていて、周りをスチールのフレームで構成しているという事で、その横に事例写真がございますが、石川総合スポーツセンターでしたり、腰壁が立ち上がっている飛騨高山ビックアリーナ。これは腰が立ち上がっているの、手前の下の方が見えない感じです。この上の石川総合スポーツセンターは、ガラスだけで構成されている、こういう形の物です。そういう事で、ここは透明ガラスでないといけませんので、これは透明ガラスで、腰があって、その透明ガラスを支えるフレームを付けている形です。もう1つは高さですが、この高さが90cmでどうかと。劇場等の基準ですと、手すり高さは最低75cmとあります。一方で、段差のある部分の手すりは、本来1.1m必要という事で、劇場等の観覧席の最前列で、避難通路にならない部分だけは、視線を考慮して75cmという扱いになっています。それを準用して90cmの高さでどうかと考えています。今、津市の建築指導課さんといろいろと相談をさせて頂いておまして、今回のケースだと1.1mの手すり高さが適用されるのではないかという話を頂いております。高さについては、行政側の打合せを含めて検討していきたいと思います。ただ、</p>

	<p>1.1mとなると、かなり目線からは阻害されるかなと、少し悩んでいます。</p>
青木委員	<p>手すりとは一番前の席との間は通路になるんですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。</p>
青木委員	<p>今回の設定はこの通り、これぐらいの幅ですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。 前席に座られる方の通り道です。 一番最前列の席に着く時に、階段下りて横へ移動するだけの通路です。</p>
木下委員長	<p>コスト面もありますので、いろいろな事例を持ち出して説得して頂くという事しかないんじゃないでしょうか。</p>
事務局（野呂）	<p>これもいろいろと検討しましたが、安全上は1.1mあった方がいいんですか、1.1mだと、ちょうど目線の所になってしまうんです。</p>
木下委員長	<p>なってしまいますよね。 よく劇場等では、通路の階段部分ですか、その先だけ無くなっていて、万が一階段の所に転倒、躓いても下に落ちないという配慮はありますよね。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。それはありますね。</p>
木下委員長	<p>やはり1.1mは高いですね。それは頑張って頂くと。</p>
日建設計（小谷）	<p>はい。</p>
木下委員長	<p>まあ、手すりについては、ガラスで囲まれているという事は変わりないという事で、よろしいでしょうか。では、時間も迫ってきていますので、どんどん進めていきたいと思えます。 選手動線と観客動線の取り組みについてお願いします。</p>
日建設計（小谷）	<p>資料9です。選手エリアと観客エリア分けという事で、これはプロポーザル時からのご提案させて頂いている通りになりますが、メ</p>

	<p>インアリーナとサブアリーナをイベントとして使うと考えた場合のケースを挙げさせて頂きました。メインアリーナとサブアリーナ、ここまでが選手エリアで、完全にここで仕切られる形にしています。ここからは一般の方は入ってこない。選手エリアはこちらから選手の入り口になっていますので、表側に選手の方が出入りすることもなく、ここに車を付けて入って頂いて、出る時もここから車で出て頂くという動線を用意しています。</p> <p>そして、ピンク色で塗っている部分、これは主催者エリアという事で、大会関係者が入って来る部分で、この部分についても、一応一般の観客が入ってこられる緑色のエリアとは、分離できるような形で考えています。後、そういったイベントの時にそれ以外のトレーニングルーム・プール・武道場等を使う場合は、アスリートモールの1列だけ通れるようにさせて頂いて、こちら側からそれぞれアプローチしていけば、それぞれ別機能として、メインアリーナ・サブアリーナのイベントとは違う形で使えるように考えています。選手エリアと一般観客エリアの動線分離と、イベントしている施設とそうでない一般市民利用の施設の分離というのはきちんと図れるように計画をしています。</p>
木下委員長	<p>ありがとうございます。何か質問がある方はお願いします。</p> <p>よろしいでしょうか。特になければ次の議題へ移らせて頂きます。では次、景観計画をお願いします。</p>
日建設計（小谷）	<p>周辺の景観に調和した建物計画という事で、これも基本のコンセプトはプロポーザルで提案した時から変わらず、津市の海の景色、山の景色、そういった山並みに合わせたシルエットを持った屋根を作るという事でご提案させて頂いていますが、今後は、もう少し具体的な仕上げ材料など、そういった物をご提案していきたいと思いますが、今の所、屋根についてはステンレス、外壁についてはほとんどコンクリートの化粧打ち放しという事で、自然素材というか、あんまり特別な、華美な色を付けたり、そういう物ではない、できるだけ自然の材料その物が持っている色合いを生かしたような構成で、そういう物によって自然の山並みにとくには合っていると考えています。後程、外構計画についてご説明しますが、敷地の周辺にはランニングコースとポケットパークみたいな物を作って緑化を図る事によって、周辺の田園風景にも違和感なく収まる形の物にしたいと思っています。</p> <p>また外観のより具体的な検討法を進めていった時に、外観のパー</p>

<p>木下委員長</p>	<p>スをちゃんと書き直しましてご提案をさせて頂きたいと思います。</p> <p>はい。ありがとうございます。何かご質問がある方はお願いしたいと思います。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは次の議題へ移りたいと思います。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>資料 11 です。3 枚あります。今回の建物は、環境に配慮して、出来るだけ地球環境負荷を削減できるような、そういう施設計画という事をテーマに挙げております。その中で、資料 11 の 1 枚目に挙げたような技術を今回採用して、省エネルギーと同時にCO₂削減を図っていきたくと思っています。1 枚目の資料に挙げております屋上緑化、これは屋上広場ですが、それから高断熱化という事で、ガラスを使って、少し断熱性能の高いLOW-Eガラスという物を使います。自然の換気や自然採光、光ダクトを使って自然の光を取り入れる。ナイトパージというのは、夜間、冷えた空気を建物の中に取り込むことによって、夏場の冷房負荷を削減するという施設です。</p> <p>2 段目、太陽光発電や太陽集熱給湯、太陽光発電は電気を起こす物で、太陽集熱給湯は熱を取り入れる物ですから、太陽集熱給湯によって、温水プールのお湯を作るという形です。クールヒートチューブというのは、地中の熱を利用するという事で、冷暖房に使う空気を、いったん地中を通して取り入れることによって、地中の温度というのは、夏は涼しくて冬は暖かいという安定した気候ですので、それによって夏は少し冷やして、冬は少し温めて空気を取り入れることによって、冷暖房の使うエネルギーを削減するという事でございます。</p> <p>後、LED照明、これはかなり汎用的になっています。それから照明センサーで自動調整する照明という事で、昼間の外光が明るい時は照明の明るさを絞って、夜、暗くなると明るくするという物です。また人がいる所は照明が付くが、人がいない時には自動で消灯されるようなセンサーを付けるという事です。その下の超高率熱源や廃熱回収熱源システムは、空調機の効率の良い物を使いましょう、それから、出来るだけ外に熱を出さずに内部で使いましょうというものです。</p> <p>後、床吹き出し空調・座席吹き出し空調というのは、人がいる辺りを集中的に冷暖房することによって、大きい空間の中で、無駄な所を冷暖房しないという考え方です。床暖房も同じです。外気冷房というのは、春とか秋の中間期の外気があまり暖かくない時に、中</p>

	<p>を冷房したり暖房したりする時に、外の空気を入れてあげる事によって、冷暖房のエネルギーを削減するという方式の機械です。</p> <p>そして、プールの天井は、幕屋根から自然採光を取り入れるという物です。CO₂濃度検知外気制御というのは、室内のCO₂濃度を自動的にセンサーで判断して、人間の生活する環境の中で、必要最低限の外気を取り入れるという物です。雨水利用については、雑用水として使える様に、水を溜めておく施設を作る、これは、先ほどのBCPにも関連してきます。BMS、ビルマネージメントシステムという事で、施設内のエネルギーの使用状況をデスクトップで管理できるという機械を導入することによって、建物を使い始めてからも、より効率の良い建物が使えるような施設を導入するという計画です。そういった物をいろいろと採用して、一覧表で挙げています、それぞれの物がどれくらいCO₂の削減が出来るのか、どれくらいの省エネルギーになるか、といった事を一覧表にしたのが次の表です。これはちょっと端折りまして、3枚目に、どれくらいの効果があるのかというのを挙げてみました。既設データが一番上に書いてありますが、下の表の右に棒グラフがありますが、今申し上げました、省CO₂、省エネルギーの仕掛けをしない建物と比べて、今回であれば、試算すると32%を光熱費で削減できる、CO₂についてもほぼ同じくらいのパーセンテージで削減することが可能な施設を計画しています。</p>
木下委員長	<p>ありがとうございました。ただ今のご説明に関してご質問がある方は、よろしくお願いします。</p>
青木委員	<p>すみません。太陽光発電のキロ当たり単価は、いくらで計算されていますか。</p>
日建設計（小谷）	<p>新しく7月から導入される制度の、全量買い取りの制度でいくと、だいたい、15年から20年の間ぐらいで回収できると言われています。ただ、全量買い取りでなければ、やはり70年とか80年がかかるので。全量買い取りの制度が適応できるかどうかという所ですね。それが今現在の制度だと40何円という単価が、1年後にはまた見直されるという話もあり、今はまだその想定はしていません。</p>
青木委員	<p>それで今、太陽光発電のビジネスが盛んですよね。1万㎡くらいの所でも、ソーラーを設置しようかという民間の動きも出ていて、当然、これも検討して、電力量の削減とか売電で、元が取れるとい</p>

	<p>うような検討もして頂いた方がいいかなと思いますね</p>
日建設計（小谷）	<p>はい。新しい制度が出てまいりましたので、それを踏まえて、太陽光発電については検討していきたいと思います。</p>
青木委員	<p>そうですね。 薄いシートのやつもありますもんね。発電量は落ちますけど。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。ちょっと効率が悪くなります。</p>
青木委員	<p>それだと屋根を施工しなくてすみますからね、だいぶ安くはなる とは思いますが。</p>
木下委員長	<p>他、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。 では、次に移りたいと思います。お願いします。</p>
日建設計（小谷）	<p>搬入の計画ですね。先程、選手ゾーンと言っていましたが、メインアリーナの北西側に搬入エリアを設けていますが、この部分で、中央に屋外機置き場があるんですが、その周りに、トラックがずっと回って来て、付けられて、この部分が庇になって、雨に濡れずに搬入が出来る。今、ここに書いてあるのは20tトラックが走る時の軌跡ですので、20tトラックでも十分付けられる事ができます。かつ、庇の高さも、余裕を持つ高さにしています。ただ、この部分はこれで入って来られるんですが、敷地の中に入って来る道路が狭いものですから、この西側の道路から入って来るのは、ちょっと切り返しをしていかないと、なかなか入って来られない状況です。ですから、これくらいの20tとか大きいトラックの時には、正面側の広い道路側からぐるっと回って入って来て頂くような、動線の誘導が必要かと思います。建物そのものは、大きなトラックが付けられるようになっています。</p>
木下委員長	<p>ありがとうございました。何かご質問があったら、お願いします。 よろしいでしょうか。 では、次に移ります。では、お願いします。</p>
日建設計（小谷）	<p>続きまして、イベント時の対応でございます。設計開始当初は、スポーツイベントを前提とした施設構成という事で考えていたが、その後、いろいろとご意見を頂きまして、その他、もっと多</p>

	<p>目的な使い方が出来る、という事で、それぞれ、イベントを想定した施設計画を考えてみました。まずAのスポーツイベントは中央のセンターコートだけにして、かなり本格的な国際競技であったり、そういう競技をする時に対応するものとして、中央に照明を吊る、より照度を高くしなければいけないので、照明を吊れるようなバトンであったり、それ以外の演出が出来る様な、吊りものが出来る様なそういう美術バトン、そういう物を設置していくという事です。一般的な仕様の床組みで大丈夫だと思いますけども。こういうようなスポーツイベントを考えています。</p> <p>それから2番目、Bの部分ですが、音楽イベント、ファッションショー、式典等、こういうものを設ける場合、これはステージを南側に設けるという想定にしまして、可動席、プラスピンク色の所に、折り畳みの椅子のような物を設けて座席を作って、ステージに向かってイベントをする。この時には同じように、やはり照明バトン、美術バトンを設けるという事。また、スピーカー等の電源対応を考えています。基本的には音響設備については持込みでの対応として、電源のみ対応する計画です。この時には、通常の床、それから、吊物がたくさん来ますので、吊物の重量を考えなくてはいけないので、屋根の改修設計を考えます。ただ、基本的には音楽イベントで、コンサートで、縦ノリをするようなライブがあったりというものについては、今はまだ対応しきれないという事で、音楽イベントでも内容を、少し選択して頂く必要があるかと思えます。</p> <p>その他のイベントという事で、ステージを作らないような、メッセと一体で使うような見本市であったり、そういうイベントですね。そういうようなものについても、照明と吊物バトンを設ける事によって、対応可能だと思っています。アリーナとしては通常のスポーツイベント以外に、フレキシブルに使える吊物装置を設けるという事と、音響・照明に対応した電源の確保。</p> <p>これで、ある程度のイベントについては、対応可能かと思えます。そういう計画を検討しています。</p> <p>ありがとうございます。質問のある方はお願いします。 よろしいですか。 はい。それでは次をお願いします。</p> <p>敷地全体の外構周りの計画です。先程の景観に関する計画と連動する形ですが、建物の外周については、緑化を図りまして、その中でランニングコースをずっと設ける形です。緑の中を走るランニン</p>
木下委員長	
日建設計（小谷）	

	<p>グコースを作る、中は、アスファルト舗装の駐車場を設けていく。今現在、メッセの前にある前庭の部分はそのまま緑地で残しておきまして、メッセの前の車寄せのアプローチの所から一步入ったエントランスプラザの所、ここは仕上げを変えて、インターロッキングブロックみたいな、少し柔らかい素材、アスファルト舗装ではない素材で考えています。駐車場については、中央部分の車路の両脇に緑化をしていくという計画にしていまして、以前もう少し車室の中にも植栽をするような計画をしていしましたが、この駐車場の広場のそのものを、もっといろいろなイベントに使う、たくさん集まるようなイベントにも使えるようにという事で、逆に植栽を無くして、車路の両脇だけ緑を足す計画にしています。その分、周辺の緑を少し厚くして、外から見た時には、出来るだけ緑豊かな敷地環境を作りたいと考えています。ランニングコースの素材は、出来るだけ走り易い、少しクッション性のある舗装をする。そして屋上緑化する広場の所は、デッキを使ったような、使いやすい素材を使うと言うような事で、その場所、場所で使い方に合わせた仕上げ素材を検討したいと思っています。以上です。</p>
木下委員長	<p>ありがとうございました。何かご質問のある方は、お願いしたいと思います。</p>
青木委員	<p>この緑地の維持管理の費用はどのくらい見込んでいますか。</p>
事務局（野呂）	<p>どのくらいでしょう。まだメッセ並みくらいしか見込んでいないです。</p>
青木委員	<p>管理できますか。これだけ緑地があつて。</p>
事務局（野呂）	<p>ちょっと、多いには多いですからね。</p>
青木委員	<p>だいたい、維持管理費はどのくらいかかると思いますか。</p>
日建設計（小谷）	<p>ちょっとねえ。それは試算が出来ていないですね。</p>
青木委員	<p>それを聞いてから、ちょっと考えます。</p>
小椋委員	<p>いいですか。ランニングコースって一周出来る様になっているんですか。</p>

日建設計（小谷）	はい。一周出来る様になっています。
小椋委員	この茶色い所を辿っていけば、って事ですよね。ここの間はどうかっているんですか。
日建設計（小谷）	この部分ですか。
小椋委員	はい。
日建設計（小谷）	この上を、こっち側にこう渡っていく形になっています。
小椋委員	入り口の所を通過するという感じですか。
日建設計（小谷）	この前を少し通っていく感じです。これは真っ直ぐ行っても。
小椋委員	真っ直ぐ行った方が良い気がするんですけど。
日建設計（小谷）	今、まだちょっと、公園的になっていますので、その部分を残しているんで、こうなっていますけど。
小椋委員	そっちの方が、安全性もあるかなと思って。
日建設計（小谷）	はい。わかりました。
木下委員長	駐車場のアスファルト舗装ですけども、グレーのアスファルト舗装ですけども、例えば、エントランスのロータリーとか、その部分あたりぐらいは、もう少し、脱色アスファルトとか自然の素材感のあるアスファルトにするとか、全部するのは大変ですけど、要所を絞ってポイントになる所は、もう少しグレードを上げてもいいのかなと思うんですけど。
日建設計（小谷）	はい。この辺りですね。
木下委員長	その辺り、そこの人の目につくような所。そこは特に緑地があるので、それとの繋がりもありますから、その間にグレーのアスファルトがあると、全体としてもまとまりが分断されるかなという感じがします。

日建設計（小谷）	それは調べて検討して見ます。
相沢委員	エントランスは全部スロープには出来ないですか。
日建設計（小谷）	こちら側がどうしても階段になるものですから、ここで変な段差が出来るのがどうかなと思ったので、今はそういう風にしています。スロープの幅をもっと広げる事も出来ますね。緩やかなスロープにして、残りは階段に出来ます。もうちょっとスロープの幅は広い方がいいですかね。
木下委員長	他いかがでしょうか。よろしいですか。それでは次をお願いします。
日建設計（小谷）	トイレの器具数の算定につきまして、一覧表にして参りました。ちょっと小さい表なので見づらくて申し訳ないんですけど。それぞれ、類似の施設の器具数を書かせて頂いております。面積規模的に同等のものというのが。まあ、小牧というのがちょっと小さめ、石川は1.5倍くらいという事で、この中間くらいの施設が今回だと思って頂いて、この辺りをそれぞれ、大便器、小便器の数というのを見て頂いて、これと見比べて頂くと、ほぼ中間ぐらいの数になっているという事で、見て頂けるかなと思います。ですから、ほかの施設と比べて、そんなに少ないという事ではない。ただ、これはあくまで今現在のしきりとして作っているという事にして。今回の計画は、さらに、この男女のブースの仕切を寄せて、女性の多いイベントの時は女性を増やすというような調整が出来るようにしていますので、出来るだけ効率よく施設を使うという考え方の計画と考えて頂ければ良いかと思えます。以上です。
木下委員長	<p>ありがとうございました。それでは、ご質問のある方はお願いします。</p> <p>それでは、次に移らせて頂きます。基本設計概要版についてという事でお願いします。</p>
事務局（川合）	お手元に配らせて頂いております基本的概要版という事ですが、こちらにつきましては、最終的に調整を行っている所ですが、前回、イベント等の招致に関しまして、それ様に別途、PRができるような物を作ってみてはどうかというご提案を頂戴しております。そ

	<p>らの方におきましては、別途、作成する予定で、現在、協議を進めておりますので、ご理解を頂きたいと思えます。尚、この内容につきましては、今までご説明させて頂いた物を組み合わせた様な形になっております。あえて、この場でご説明をさせて頂く必要のないのかなと感じますので、ご理解を頂ければと思えます。よろしくお願ひ致します。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>はい。ありがとうございました。概要版についてのご説明をして頂きました。何かご質問がございましたら、よろしくお願ひ致します。</p>
<p>事務局（野呂）</p>	<p>はい。ちょっと大会用にという事で、前回お話をさせて頂きましたが、そうすると、アリーナとか、そういった所の詳細といった物が必要かなと思えますので、そういった物も、別途もう少し中身の濃いものを作らせて頂こうかなと思っています。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>他、よろしいでしょうか。 それでは、次の議題。委員からの提案事項についてです。それではお願ひします。</p>
<p>事務局（川合）</p>	<p>最後のページですが、資料 17 と致しまして、事前に委員の皆様方に第 4 回検討委員会における委員からの提案事項について、各分野で見識のある皆様からご意見を頂戴して、参考に反映させて頂けるものについては、改めて検討していつてはどうかというご提案を頂いた中で、事務局としても委員の皆様にお願ひしております。具体的な内容について、本日お聞かせ頂きたい所でございますが、本日、後藤委員が休みでございますが、事前に内容を頂戴しておりますので、読まさせて頂きたいと思えます。お手元の資料ですが、少しお戻り頂いて、資料 14 になります。ポケットパークが外構の四隅にございますが、ポケットパークからランニングコースのコーナーに休憩が取れるような物を作って頂ければどうかというご提案を頂戴しております。さらに、ランニングコースにおきましても、ある程度弾性のあるチップといえますか、そういった物を含んだ素材にして頂ければ、利用者にも安心・安全な施設になるのではないかなという事で、ご提案を頂いております。以上でございます。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>これはどういう形で進行すればよろしいですか。</p>

事務局（川合）	<p>ご意見を頂戴したい内容を確認させて頂いておりますので、それに沿ってご提案、ご意見を頂ければと思います。</p>
相沢委員	<p>予約システムについてですけど、大概の今の施設に関しては、例えばインターネットで2か月前から予約が出来るというような形がありますが、電話申し込みではなくても、ホームページ上から予約ができて、なお且つ、僕の所のフットサル場等は、決済システム導入を付けて、カード決済が出来る様な形もやっていますし、この辺はマストに入れて頂いた方がいいかと思います。</p> <p>スポーツ教室を行う上で、必要な留意点についてという事ですが、僕ら駒沢競技場のいくつかのイベントをやらせて頂いているんですが、公共施設なので、自主事業として指定管理に入っている東京都スポーツ文化事業団という所が予算を取って、東京都民のために、私たち業者を使ってスポーツイベントしていくというパターンと、業者の提案で使用料とか全部払って計画を立てて認可して頂いてやっています。教室としては、広く平等性があり、誰しも参加できるという大会を企画しています。例えば、東京体育館などでは、指定管理に東京都スポーツ文化事業団とコナミスポーツさんが入っているんですが、コナミスポーツさんはスタジオでの各教室でヨガやダンスといったものはやられています。自社内のスタッフを使う場合と外部委託でやられていると思います。</p> <p>基本的にはスペースに応じてスポーツ教室をやっていくという形なので、道具は自分たちで持込みの場合もありますし、施設の物を使わせて頂くパターンもあります。</p> <p>のぼり旗の設置スペースや屋外掲示スペースの具体的な効果的な利用法については、どういう意味ですか。</p>
事務局（野呂）	<p>これは、多分ですね。スポーツゲームズなんかする時にのぼりを出しますよね。ああいった場所を予め設定する必要があるかどうかとか、そういった事かなと思います。</p>
相沢委員	<p>基本的には、予めセッティングする必要はないと思うんですけど、ただ、バナーなんかは張られたりしますよね。</p> <p>ネーミングライツなんていうのは、売りに出すんですよね。</p>
事務局（野呂）	<p>そうですね。お金にしたいと思います。</p>
相沢委員	<p>そういった時のバナーだとか、そういったスペースは考えられて</p>

<p>日建設計（小谷）</p>	<p>いく必要性はあるのかも知れないですね。</p> <p>あと、テレビ中継が入った時のバナーも考えられると思います。</p> <p>大会イベントの運営上、備えておく効果的な設備についてというのはどういう意味ですか。</p> <p>これはですね。今日、ある程度イベントの形を想定して、こういう形でもよろしいでしょうかという提案をさせて頂きまして、それについての意見を頂ければと思います。それで、それ以外に、もう少しこんな事も考えておいた方がいいんじゃないかという事で、基本的にこのシートはハード的な部分に関しては、こちらから提案させて頂いて、それにご意見を頂くつむりのシートですので、内容についても、今日ほとんどご提案させて頂いたものがございます。基本的にはその内容でご意見を頂ければと思います。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>基本的には、全てのイベントに対してマッチングする施設は、たぶん無いと思うので、そこはイベント会社や制作会社等が、上手く作りこみをしていく場合もあるだろうし、先ほど、お話をお聞きしていた対応で問題ないと思います。</p>
<p>事務局（野呂）</p>	<p>一応、スポーツだけでなく、多少、そのテレビカメラが入った時に照明をかなり明るくしないといけないので、そうすると、照明用の追加照明のバトン天井に付けるという事を考えています。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>今、東京体育館でバレーの最終戦をやっているじゃないですか。</p> <p>あれで、一番不便さを感じるのは、駐車場から入れなくなるんですよ。駐車場も少ないんですけど。</p>
<p>事務局（新家）</p>	<p>全部止められているというのは、中継車があるからですか。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>そうです。その期間中は全部使えなくなります。</p>
<p>事務局（野呂）</p>	<p>バックヤードは独占されてしまって、一般の人が使えないという事ですね。</p>
<p>相沢委員</p>	<p>施設によっては、サブアリーナとかに行けなくなる場合もあります。そういう面では今回はいいんじゃないですか。</p> <p>現在は、予約システムは無いんですよ。</p>

事務局（野呂）	今は、津市はホームページで予約状況が見えるだけですね。
相沢委員	そうですね。
事務局（新家）	勉強させていただいたのですが、なかなかカード決済までは難しい状況です。
相沢委員	カード決済はなくても、インターネット予約はあった方がいいですよ。
事務局（野呂）	ホームページで、仮予約が出来る様にしておかないといけないですね。
相沢委員	すぐ出来るんじゃないですか。
事務局（川合）	現状は使用前に一度、窓口へ行かなくてはいけない状況です。先程相沢さんがおっしゃった、カード決済とか、そういうシステムもございませんので。
事務局（新家）	利用者が、東京のように若い方が中心ではなく、お年寄りになるので東京に比べるとカードの利用率は低いかもしれないですね。
相沢委員	コンビニとか、色々な決済の方法を出来るようにさせています。逆に、窓口へ持ってこさせないようにしています。
事務局（野呂）	これについては、引き続き検討させていただきます。
木下委員長	続いて、青木副市長お願いします。
青木委員	<p>新しい道路を計画していますね。駐車場から出る効率を考えると、新しい道路に接する出口がないので、スムーズな出方を考えると、新しく計画されている道の方に、出口は難しいですか。この配置だと西側に1箇所作れるかどうかぐらいですかね。</p> <p>出入りの車を流したいというのが、私どもの計画ですので、そこへ行くのに、駐車場から出るのに1回曲がって、本線からその道に入るのもう1回曲がるとなると、非常に車の流れとしては、そこで渋滞が起きるという事で、そうなると結局、前の従前からの道へ出てしまう。また、そこで渋滞するという形になるので、車の流し</p>

	<p>方を考えて頂けると、もうちょっといいのかな。本当は、直接そこへ出られるのが、一番良いんですけどね。</p>
日建設計（小谷）	<p>まだ、そこまで、交通計画は詳細に出来てないですが、イベントのはける時の車の流れ方ですね。交通計画の詳細を検討したいと思います。</p>
青木委員	<p>先ほども言いましたが、維持管理費の関係で、もうちょっと維持管理費の掛からないような緑化計画を。出来れば、大きいところは芝生だけとかね。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうですね。あんまり刈り込んだりとか、手間のかからない様にはしたいと思います。</p>
青木委員	<p>芝だけとかだと、天気が良ければ、外でご飯を食べようとか。なるべく維持管理費の掛からない計画にして欲しいです。</p>
日建設計（小谷）	<p>それを前提に計画します。</p>
青木委員	<p>それと駐車場の照明のほうも計画をお願いします。</p>
日建設計（小谷）	<p>検討します。</p>
青木委員	<p>浄化槽はどこへ設置するんですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>既設の浄化槽はここにありますがね。その横に並べて。</p>
青木委員	<p>さっき聞いた汚水の処理層は、どういう経路で持ってくるんですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>それ専用の配管を接続します。</p>
青木委員	<p>災害の時は切り替えるんですか。</p>
日建設計（小谷）	<p>そうです。トイレのすぐ下の辺りにピットを作ります。</p>
日建設計（岡田）	<p>浄化槽とかですね、若しくは浄化槽から河川ですね、排水路までの経路が地震災害で傷んだと想定した時に仮にこちらに溜めてと。</p>

青木委員	基本的に浄化槽は地中構造物ですから、壊れないんじゃないですか。
日建設計（小谷）	浄化槽そのものは大丈夫でも浄化槽から先に流す管路がやられたら、浄化槽に流せないのです。
事務局（野呂）	浄化槽へ行くまでの管路と先へ流す管路ですね。要は管は損傷するだろうと。
日建設計（岡田）	大地震については、液状化等もありますので、そういったところで配管が痛むと。それで不接合になった状態になるとトイレが使えなくなりますので、その時は最寄りのその水槽に落として貯留するということです。
青木委員	どうやって切り替えるのですか
日建設計（岡田）	それは手動です。
青木委員	どこで。
日建設計（岡田）	最寄りのバルブで手動で切り替えると。
青木委員	そうするとその管は絶対に壊れないということですか。
日建設計（岡田）	そうですね。建物内部です。
青木委員	それだったら、液状化対策をしておいた方が汚水槽作るより安価ではないですか。
日建設計（小谷）	汚水槽は躯体そのものは基礎として出来ますから、それに防水を簡単にかけるだけなんで、そんなに費用がかかるものではないですね。配管を切り替えるバルブをそこに作って、配管を繋げると。
青木委員	それを空にしておくためのポンプとかも要りますよね。万が一水が溜まった場合ですと。
日建設計（小谷）	万が一水が溜まった場合は、投げ込みのポンプで排水できるくら

<p>日建設計（岡田）</p>	<p>いのことを考えています。</p> <p>防水をそこにかけておりますので、水はそこへ溜まらない前提です ね。</p> <p>災害時に利用して水が溜まった場合にはバキュームして、ほとんど常時空の状態にするという事ですね。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>それでは、小椋委員お願いします。</p>
<p>小椋委員</p>	<p>選手控室をいろいろと提案して頂いてからは、動線とかも考えられていますし、使い勝手はすごくいいと思います。</p> <p>シャトルの見やすい内装と照明ですが、資料8で言わせて頂くと、椅子がどういう感じの椅子になるかがわからないんですが、例えば、木で、反射するような木だった場合は濃い色の方がいいなと思うのと、壁もやはり濃い色の方が見やすいというのがあるんですが、例えば、座ったら下がって、立ったら上がる椅子だったら、たぶん色は青色とかでも、光とかの反射がないので、問題は無いと思いますが、もし、木に関しては濃い色にして頂きたいと思います。</p> <p>照明ですが、ほかの競技も開催されるので、そうなった場合に取り入れることが出来るかわかりませんが、バドミントンのシャトルの位置関係と配置を考えていただけたらと思います。その辺が可能なら配置の考慮していただきたいのですが、ライトの色が白色じゃなければ、例えば黄色っぽいライトとかだったら配置についても問題ないですが。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>白いライトが競技する直上にあるとどうかと。</p>
<p>小椋委員</p>	<p>高く上げられたシャトルに対して、ライドがかぶるという感じなんで。</p>
<p>日建設計（小谷）</p>	<p>明るさとしてはどうですか。</p>
<p>小椋委員</p>	<p>明るいのは平気なんですけど、真っ白なライトがかぶると、ちょっとキツイですね。又、ライトが目に入ると、目がチカチカしますよね。それはちょっと困ります。</p>
<p>木下委員長</p>	<p>よろしいですかね。</p> <p>私の方はBCP対応でしたので、今日はBCP対応についてはご</p>

	<p>説明頂いたという事で、この方向で進めて頂ければと思っています。</p> <p>これからの話になってきますが、アスリートモールとか仕上げ面ですね。仕上げを具体的にどういう風にやっていくのかという事で、特にアリーナの方は木材を使うという話がありましたが、アスリートモールとか、他の所でどういう形で木材を使うのか、その辺を、積極的に使っていった方が良いのかという所ですね。</p> <p>あと、仕上げを考えた時に、出来れば市民参加という形で、何か住民も一緒になって施設を作るという、そういう余地を部分的に残しておくという取り組みもあってもいいのかなと思っていますので、そういう事に対応するような、仕上げを考えてもいいのかなと思っています。私の方からはそういう所です。</p> <p>では、時間もおしておりますので、その他ですね。</p> <p>(野呂部長中座のためあいさつ)</p>
事務局（野呂）	<p>貴重なご意見を頂きまして、ありがとうございます。今回、模型とCGを見て頂いたという事で、少し具体的にその中のイメージがまた考えて頂けるのかなと思います。これからの仕上げも含めて、いろいろとご意見を頂きながら進めて行きたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。</p> <p>申し訳ありません。失礼させていただきます。</p>
事務局（川合）	<p>続きまして、前回の第3回の検討議会の議事録をまとめさせていただきますので、また、拝見して頂きまして、訂正等がございましたらよろしくお願い致します。</p> <p>それから次回の会議につきましては、7月の上旬を予定しております。日程につきましては、今回同様、木下委員長はじめ、委員の皆様にご予定を伺いながら調整をさせて頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します。</p> <p>なお、今後の大まかなスケジュールですが、本日ご協議頂きました内容を踏まえ、引き続き検討を行いまして、6月中には基本設計の調整事項についての最終のとりまとめを行い、7月から実施設計を中心に組み込んで参りたいと考えております。また、本委員会におきましては、施設共用開始後の管理・運営手法の内容等の検討についても進めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>現在、津市のホームページにおいて、基本設計の概要をアップさ</p>

木下委員長	<p>せておりますので、また、機会がございましたら、津市のホームページをご覧くださいと思います。</p> <p>また、最後に、本日の委員会の議事録につきましても、委員の皆様にご確認を頂いたうえで、公表させて頂きたいと思います。以上でございます。</p> <p>はい。ありがとうございます。次回については7月の上旬を予定されているという事ですので、日程については、また調整させて頂きたいという事です。</p> <p>他、何かございますか。よろしいですか。</p> <p>では、議事については以上という事で、本日の委員会はこれで終了したいと思います。みなさん、長時間ありがとうございました。</p>
-------	---